

## 132 マキノセンニュウ (スズメ目)

*Locustella lanceolata*

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク: NT

### 種の概要

北ヨーロッパからシベリア、中国北東部、千島列島、サハリン、日本北部などで繁殖し、繁殖後は南アジア東部から東南アジアなどに渡り、越冬する。日本では春に渡来し、北海道で繁殖する。春秋の渡りの時期に本州、四国、九州に渡来する。草原に生息し、草の中を移動しながら昆虫類やクモ類を採食する。通常、単独かつがいで生活し群れにはならない。

### 国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛島、粟島、佐渡、舢倉島、竹島、見島、四国、九州、草垣諸島、与論島、沖縄島、与那国島



写真提供：山根みどり (性別：不明)

※幼鳥

※鳥類標識調査時に撮影

### 県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

神戸市、姫路市、明石市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、高砂市、南あわじ市、加東市、神河町

### 主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

### 県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と9-11月に記録されるが、多くはない。深い草むらの間や地面近くを潜行し、人が近づいても飛び立つことが少なく、観察されにくい。2000年以降の観察記録は極めて限られている。標識調査で確認されることはあるが、生息状況は不明。

### 保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、主要な生息地である自然環境の残る草原やヨシ原の保全と再生が重要。